

令和8年3月号

# ゆう's ねっと

つくり すこしばつ行こまいか

ENA

発行／恵那市青少年育成市民会議 第52号



## 見えていますか？ 街での子どもたちの姿



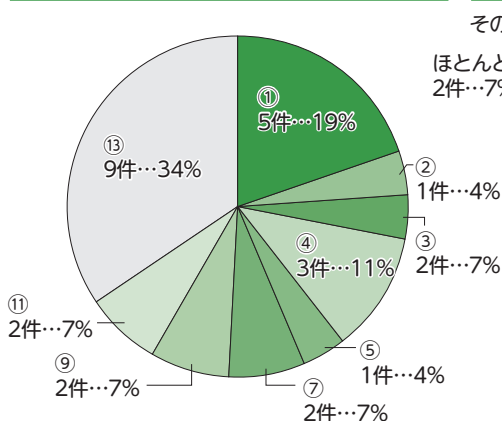
恵那市青少年育成市民会議では、毎年青少年健全育成のためのアンケートを実施しています。市内の18歳以下の青少年（小・中・高校生）が、どのような行動をとっているかを知り、生徒指導や警察の見守りなどに役立てることが目的です。青少年がよく立ち寄り可能性のある市内店舗などを対象に、青少年の行動について回答していただきました。ここでは、その結果の一部を紹介します。

**アンケート期間** 令和7年7月22日～8月31日

**依頼店舗数** 71店舗

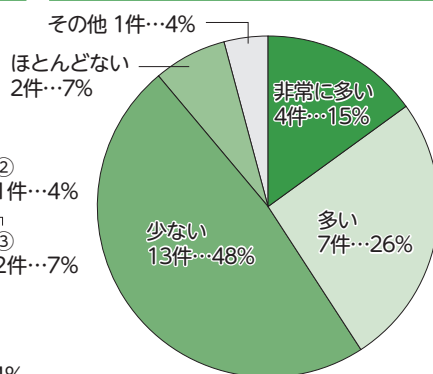
**回答率** 38%

回答があった店舗の業種

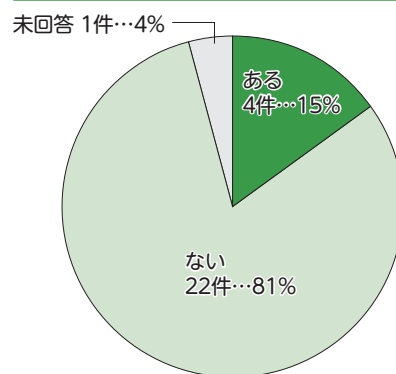


- ① コンビニエンスストア
- ② レンタルビデオ店
- ③ スーパーマーケット
- ④ 書店
- ⑤ ホームセンター
- ⑥ ゲームセンター
- ⑦ 薬局
- ⑧ 菓子店
- ⑨ 飲食店
- ⑩ 酒屋
- ⑪ 衣料品販売店
- ⑫ カラオケ店
- ⑬ その他

青少年の店への立ち寄り

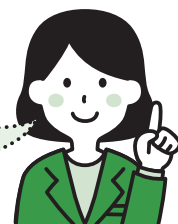


ここ1年ほどで青少年による被害を受けたことがあるか



### 青少年の様子について、いいなと感じること

- 大人より礼儀正しい子が多い。(コンビニエンスストア)
- あいさつがしっかりでき、マナーも良い。(小売店・飲食店)
- あいさつ、お礼を言える学生が多く感心する。(その他)
- きちんと敬語で話しかけてくれる子が多い。(薬局)
- きちんと挨拶ができる。(飲食店)



### 気になること

- 店内を走る、買い上げ前に商品で遊ぶ。(その他)
- 長時間の滞在、大人数での利用、大声での会話による迷惑行為。(スーパーマーケット)
- フードコートでのメイク行為、文化祭準備(工作等)、長時間の滞在、また小上がりスペースの占有等(ショッピングセンター)
- 複数名での来店時に、店内で大声で話す。とくに避妊具売り場あたりで集まっている。近隣店舗に向かう際、当店でお酒を買う可能性があるが、私服での来店の場合、区別が付かない場合がある。(薬局)



このアンケート結果は、店名など個人情報を伏せた上で、市内の小中学校や警察署などに提供し、生徒指導や警察の見守りなどに役立てます。

11月  
1日

## 「秋のこどもまんなか月間」 啓発活動を実施



参加した高校生  
ボランティアの  
感想

11月は、こども家庭庁が呼びかける「秋のこどもまんなか月間」です。恵那市青少年育成市民会議では、子どもや若者を支える活動への理解を広げ、参加の輪を広げるため、毎年啓発活動を行っています。今年度は、市内4か所の大型スーパーマーケットにご協力いただき、出入口でティッシュやチラシを配布しました。その後、会場周辺の歩道でゴミ拾いも行い、地域の環境美化に取り組みました。当日は、少年センター指導員である恵那保護区保護司会の皆さん、学校教諭、PTA 役員、市内高校生ボランティアなど29人が参加。「地域みんなで子どもたちを支援しましょう」という想いを込め、啓発物資の入ったエコバッグを来店者へ手渡しました。

- 地域の方と直接触れ合うことができ、貴重な経験になりました。
- 楽しみながら参加することができました。

11月  
6日

## 青少年育成市民会議研修会を開催

恵那文化センターで青少年育成市民会議研修会を開催し、各地域や所属から76人が参加しました。

第一部では、タレントのスマイリーキクチ氏を講師に迎え、講演会を開催しました。「言葉の責任～被害者や加害者にならないために～」と題し、インターネット上の誹謗中傷や言葉の持つ力、SNS の適切な利用方法について、具体的な事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。時折笑いも交えた語り口で、終始和やかな雰囲気の中、あっという間の1時間となりました。参加者からは、「情報モラルの重要性を改めて実感した」「内容が濃く、有意義な研修だった」といった声が寄せられました。

第二部では、地域の実践発表が行われ、三郷町青少年育成町民会議と申原青少年育成実行委員会が、それぞれ地域の特色を生かした青少年育成の取組を発表しました。

11月  
16日

## 県民大会で青少年に貢献した 1名と1団体が表彰

岐阜県青少年健全育成県民大会が、関ヶ原ふれあいセンターで開催されました。この大会は、青少年の健全育成と非行防止、心豊かな家庭づくりを県民に広く呼びかけ、家庭・学校・地域が一体となった活動を推進することを目的としています。

当日は、青少年の育成に貢献した個人や団体への表彰式が行われ、恵那市からは恵那保護区保護司会の原要さんと紙芝居よみかせ隊が表彰されました。おめでとうございます！

表彰された皆さん



【個人】  
恵那保護区保護司会 原 要さん



【団体】  
紙芝居よみかせ隊

11月  
18日～28日

## 家庭の大切さを描いた 図画・ポスター48点を展示

岐阜県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、明るく豊かな家庭づくりを推進しています。この取組の一環として、県内の小・中学生から「家庭の日」をテーマにした図画・ポスターを募集し、入賞作品を各地域の公共施設等で展示しています。今年度は、恵那市役所休憩スペースに、入賞作品48点（最優秀賞2点、優秀賞6点、入選40点）を展示しました。



## 恵那市中央図書館 岩村分館

本と出会い、人と出会う。学びとつながりを育む図書館。



市ウェブサイト  
市中央図書館岩  
村分館のページ

岩村町にオープンした「恵那市中央図書館岩村分館」は、読書だけでなく、学びあい、教えあうことができる新しいスタイルの図書館です。親子で本を読んだり、友だち同士で教え合ったりできるスペースや、静かに集中して勉強ができるスタディールームがあり、こども一人ひとりの「やってみたい」「落ち着いて勉強したい」を応援します。

窓辺のカウンター席やソファ席は、外の景色を眺めながらゆったり過ごせる居心地のよい空間。飲食も可能で、放課後や休日に自然と足が向く居場所になっています。

また、児童書や一般書に加え、郷土の先人に関する書籍も充実。「知る」「考える」「つながる」体験を通して、地域への愛着や学ぶ楽しさを育みます。



閲覧スペース

静かな時間も、にぎやかな時間も。その日の気持ちに寄り添ってくれる場所です。

静かで  
集中できる！



スタディールーム



カウンター席

飲食OK!!  
休憩しながら  
勉強できる！



居心地が  
すごく良い！



ソファ席

開館時間 平日：9時～19時 土日祝：9時～17時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月の最終木曜日、祝日の翌日、年末年始



## 佐藤一斎学びのひろば

佐藤一斎と出逢える、対話する施設



佐藤一斎学びの  
ひろば専用ウェブ  
サイト

中央図書館岩村分館と併設する「佐藤一斎学びのひろば」は、江戸時代後期の儒学者・佐藤一斎の教えに出逢い、今の自分と向き合うことができる学びの空間です。館内では、一斎先生の言葉が映像や展示を通して紹介されています。質問に答えていくと今の自分に合った言葉を選んでもくれる「対話式コトバ診断 ISSAI」も体験できます。

学校や家庭とは少し違う視点で、自分の気持ちを見つめたり、友だちや大人と語り合ったりできるのも魅力。考えることに正解はなく、悩みや迷いも大切な学びとして受け止めてくれる、あたたかな居場所です。



対話式コトバ診断 ISSAI

開館時間 9時～17時

休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

入館料 18歳以下無料



# 町民会議の活動

## 大井町



11月3日(月・祝)に恵那東中学校で「親子防災デイキャンプ」を開催しました。大井小学校の学校運営協議会で「家庭での防災学習が必要」との話があったことから、令和4年度を皮切りに今回で4回目の開催となりました。

この日は小学生や保護者・スタッフを含め41人が参加。防災士の岩井さんや恵那東中学校の生徒をはじめとする防災リーダーの協力を得て、給水所の設営や火起こし体験・新聞紙での食器作り、防災ベッドの組み立てなど、多くの学習をしました。

### ～大井町推進員の感想～

親子で防災について多くのことを学ぶ機会となりました。この活動で得た知識を、家庭や地域で役立てていただけたらと思います。



## 岩村町

11月2日(日)、いわむら城下おかげまつりにおいて、放課後子ども教室「いわっこクラブ」の子どもたちが、自分たちで育てたお米を使ったポン菓子を作り、来場者へ配布しました。地域行事への参加を通して、岩村町の一員としての意識や地域への誇りを育むことを目的とした活動です。

当日は「ホットいわむら」の皆さんにお手伝いいただき、参加した小学生16人が、笑顔でポン菓子を手渡しました。



### ～岩村町推進員の感想～

田植えから稲刈りまでのお米を作る経験を通じて、お米作りの大変さを知ることができ、これからはいっそう大切にご飯を食べようと思えたイベントでした。



## 第23回 下田歌子賞 受賞作品が決定

第23回下田歌子賞の受賞作品が決定しました。

下田歌子賞とは、1854年に美濃国岩村藩(現在の岩村町)で生まれた、わが国の女子教育の先駆者で実践女子学園創設者の下田歌子先生をふるさとの先人として顕彰しようと創設された公募賞です。今回のテーマは「今、私が一番大切に思うこと」。小学生・中学生・一般の3部門に分けエッセイと短歌を募集したところ、エッセイは1,333点、短歌は2,779点の応募がありました。

応募作品は、下田歌子賞実行委員会での事前選考を経て、作家・武道研究家の石川真理子さん、脚本家・作家の田淵久美子さん、芝浦工業大学柏中学高等学校校長の中根正義さん、実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長の難波雅紀さん、元宝塚歌劇団・恵那観光大使の初風緑さん、小坂喬峰恵那市長による最終選考が行われ、受賞作品が決定しました。

ここでは、受賞者のうち市内小中高生の方を紹介します。

### エッセイの部

小学生の部	優秀賞	つながるいのち	長島小学校2年	勝明凜	佳作	今、私が一番大切に思うこと	武並小学校5年	酒井ひより
	優秀賞	共に生きる	長島小学校5年	渡邊望心	佳作	平和な世界	長島小学校6年	土田祥平
	佳作	新しい命を授かること	長島小学校6年	今井陽菜乃	佳作	今、私が一番大切に思うこと	武並小学校5年	山本陽菜
	佳作	言葉の使い方	長島小学校4年	遠藤航平	優待賞	初めて飼ったカナヘビ	岩邑小学校6年	加納太葵
中室の部	佳作	会話の力築く日々の豊かさ	岩邑中学校3年	太田和花				

### 短歌の部

小学生の部	最優秀賞	ばんごはん きょうはどんな 一日か まい日話す かぞくのじかん	岩邑小学校2年	宇野雅
	入選	プレゼント もらった物の 質よりも つまった思いで むねがたたまる	大井小学校6年	青木彩乃
	入選	いざ勝負 小中さいごの運動会 さいぜんつくして がんばるぞ	申原小学校4年	安藤要仁
	入選	ともだちや いろんな人に ありがとう この一言を 大切に	大井第二小学校6年	伊藤璃咲
中室の部	入選	沈黙も 気まづくならぬ この時間 友と呼べるは そんなひととき	恵那農業高校2年	田島煌士
	入選	山の中 校舎に響く 笑い声 締めくくる時 忘れぬ今日	明智中学校3年	藤谷一花